

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		道路改良事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040602000369
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	060101
		0406 道路整備と交通網の充実				主要事業	対象	建設課	
政策体系		政策名				市長マニフェスト	対象外		
		04 快適で潤いのある生活環境づくり				未来PJ事業	対象外	グループ 道路建設G	
		06 道路整備と交通網の充実				合併建設計画事業	対象外		
		基本事業名				事業期間			
		02 市道の整備				単年度繰返し (年度~)			
財務会計上の位置付け		一般会計				道路新設改良事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
予算科目	会計	款	項	目	事業	細			
	01	08	02	03	02	00			
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市の総合計画では、道路・交通の整備について目標が掲げられています。市民がマイカーや公共交通を利用して、安全かつ快適に市内を移動することが出来るような道路整備を目指しています。当事業では、幹線市道等の改良計画に基づき測量・設計業務を経て工事を発注します。工事の種類は様々で、新しい道路を整備する道路新設改良工事、現在利用している道路を広げる道路拡幅工事、U字溝の新設や改築する排水整備工事、更に傷んでいる道路をなおす路面舗装工事などです。これら工事の年間発注は、10~20箇所となっています。</p>	<p>地元要望により現地確認のうえ緊急性の高い順に道路拡幅、排水整備、路面舗装など計画し請負により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に伴う測量、設計、積算、工事発注</li> <li>工事施工に伴う現場監督、現場対応</li> <li>改良計画に伴う地元説明会</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に伴う現地測量、設計、積算、工事発注</li> <li>工事施工に伴う現場監督、現場対応</li> <li>改良計画に伴う地元説明会</li> </ul>	改良、排水整備、舗装箇所数	箇所	14.00	18.00	15.00	15.00	15.00
	改良、排水整備、舗装延長	m	2,177.00	1,757.00	1,754.00	1,700.00	1,700.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路</li> </ul>	市内の道路実延長 (供用開始延長)	km	1,503.99	1,502.00	1,502.00	1,502.00	1,502.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全快適に利用できる</li> </ul>	改良率	%	34.55	34.70	34.80	34.90	35.00
	舗装率	%	47.34	47.44	47.60	47.70	47.80
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
			11,550	9,075	16,500	16,500	16,500			
			県支出金	千円	4,660	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	226,472	174,525	180,753	183,500	183,500			
	事業費計 (A)	千円	242,682	183,600	197,253	200,000	200,000			
	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	7.00人	8.00人	8.00人			
	述へ業務時間	時間	6,521.00	7,931.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00			
人件費計 (B)	千円	18,917	23,008	23,208	23,208	23,664				
トータルコスト (A)+(B)	千円	261,599	206,608	220,461	223,208	223,664				

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
	11 需用費	238		11 需用費	249			
	13 委託料	43,532		13 委託料	23,500			
	14 使用料及び賃借料	1,096		14 使用料及び賃借料	1,154			
	15 工事請負費	128,307		15 工事請負費	123,050			
	17 公有財産購入費	5,317		17 公有財産購入費	20,400			
	22 補償補填及び賠償金	5,110		22 補償補填及び賠償金	28,900			
			合計	183,600		合計	197,253	

(4) 当該年度の実施内容

<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路新設改良工事</li> <li>排水整備工事</li> <li>舗装工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路新設改良工事</li> <li>排水整備工事</li> <li>舗装工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路新設改良工事</li> <li>排水整備工事</li> <li>舗装工事</li> </ul>

事務事業名	道路改良事業	事務事業No.	40602000369	所属課	建設課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・開始時期は不明であるが、車の普及等により地区から道路改良の陳情書が提出されるようになり事業が開始された。しかし、改良率及び舗装率は年々向上しているが、市民の満足度は依然として低い状況である。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・早期整備に対する要望が多い。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	コスト面を改善するために、排水整備工事や舗装工事などは、測量設計、積算業務などを委託せずに自前にて処理することにより、委託費を削減する。 茨城県建設技術公社などを活用し、常に安価な資材や新しい工法の情報を収集し、現場に反映させる。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 一般の生活道路には狭隘で危険箇所が多い路線があることから、この事業を行うことによって整備・改善がなされ市民生活の利便性、さらには、安全確保が向上するため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の交通機能等の役割を果たす重要なインフラ整備であり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 道路改良を毎年度実施し、改良率を向上させている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安全性、快適性の向上を図ることが難しくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 道路整備の類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 職員で可能な限り測量及び設計積算を実施することにより、委託費を削減する余地がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 整備計画や要望に基づき、地区のバランス等を考慮し整備している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 道路整備に伴う地元説明会、測量、設計、積算、工事発注を計画的に実施し、道路改良率が向上した。																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 コスト面を改善するために、排水整備工事や舗装工事などは、測量設計、積算業務などを委託せずに自前にて処理することにより、委託費を削減する。茨城県建設技術公社などを活用し、常に安価な資材や新しい工法の情報を収集し、現場に反映させる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下			×																					
		(6) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果																							
		コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>